

# 「これで納得、お葬式講座」

## 2009年11月・第1期講座

### これで納得、お葬式講座（第1期）

#### ■ 第3回 ズバリ！ 葬儀費用のかかり方

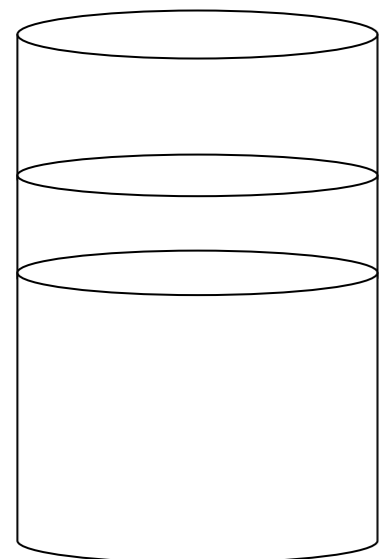
誤解を与える葬儀社の広告

# 葬儀一式 29万円



祭壇(生花別)、納棺具一式、お骨壺、受付設備など  
別途負担項目 霊柩車・供養品・料理、その他記載がないもの

#### 葬儀費用の平均



宗教者費用(お布施など) 55万円\*

飲食接待費(料理やお返しなど) 40万円

葬儀一式費用(葬儀社支払分) 142万円

合計 237万円 (\*除く 182万円)

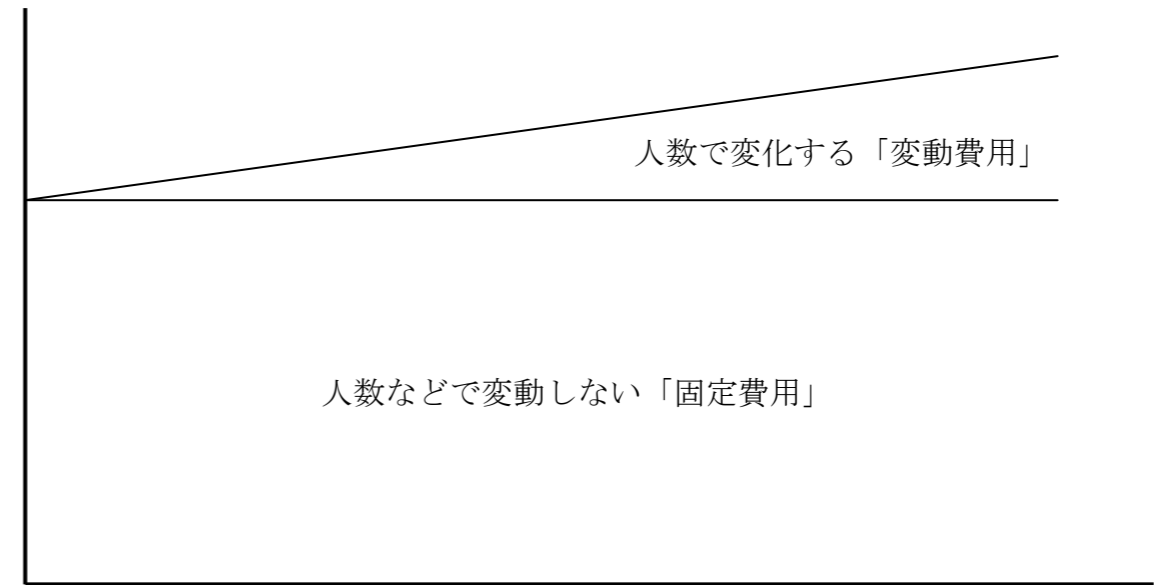
(出典：日本消費者協会第8回葬儀に関するアンケート調査)

#### 葬儀費用は固定費と変動費で構成されている

一般に葬儀費用はわかり辛いと言われますが、実際は親族やお参りの方の数に関係ない固定的費用と人数に比例する変動費用とで構成されています。このことが理解できていればそう難しくありません。

前述の平均費用構成グラフをイメージしていただき、総葬儀費用の変化をグラフに表すと次のようなものになります。

(葬儀費用のかかり方イメージグラフ)



#### 固定費用の主な項目

会場費、祭壇費用、棺、骨壺、霊柩車、寝台車、ドライアイス、遺影写真、お布施、火葬料金、役所手続き代行や進行などの人的サービスなど

#### 変動費用の主な項目

会葬返礼品、会葬礼状、お料理、飲物代、サービス料など

#### 固定費において人数が影響を及ぼす項目

- ① 会場費 安い(狭い) < 会葬者の人数 < 高い(広い)
- ② 祭壇費用 安い(小) < 会場のサイズ < 高い(大)

その他、棺や骨壺などはグレードにより増減する場合がありますが、人数とは全く関係ありません。

霊柩車や寝台車は、通常営業ナンバー(緑ナンバー)車両で行うため、距離や時間帯などで増加する場合があります。

また、祭壇費用は人数が少ない場合でも、お花を多くするなどグレードを上げると規模の小さな祭壇でも高くなる場合があります。

↑  
金額

人数 →

総  
葬  
儀  
費  
用

